

# 7月26日 例会「いろとりどりの親子」

## ドキュメンタリー映画

### 例会のお知らせ

■名称／第103回例会『いろとりどりの親子』

■日時／7月26日(金)

①PM 2:00—、②PM 4:20—、③PM 6:40—

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



### 【例会作品データ】

■タイトル／いろとりどりの親子

■監督／レイチェル・ドレッツィン

■データ／2018年、アメリカ、93分

■ジャンル／ドキュメンタリー

■解説／親や周りとは「違う」性質を持った子どもを持

つ300以上の親子たちのインタビューをまとめ、ニューヨークタイムズ紙ベストブックなど、アメリカ国内外で50以上の賞を受賞し、世界24カ国で翻訳されたアンドリュー・ソロモンによるベストセラーノンフィクション『Far From The Tree: Parents, Children and the Search for Identity』を原作にしたドキュメンタリー。

社会派ドキュメンタリーを数多く手がけるレイチェル・ドレッツィン監督が映画化したヒューマン・ドキュメンタリー。

作家が10年の歳月をかけてまとめあげた原作に基づき、自閉症、ダウン症、低身長症、LGBTといった「違い」を抱えた子どもを持つ6組の親子が直面する困難、戸惑い、その経験から得られる喜び、そして親から子への愛情が描かれる。

### 私の映画KAN

#### 『マイブックショップ』

元町映画館で見ました。

1959年のイギリス、海辺の小さな町。戦争で夫を亡くしたフローレンスは、それまで一軒も書店がなかった町に夫との夢だった書店を開こうとする。保守的な町でそれを快く思わない町の有力者ガマー

ト夫人の嫌がらせに遭いながらも何とか開店にこじつける。レイ・ブラッドベリの『華氏451度』など、先進的な作品を精力的に紹介し、書店は物珍しさで多くの住民がつかめる。だがガマー夫人の画策により、次第に経営が立ち行かなくなっていく。フローレンスの味方は40年も邸宅に引きこもっている読書好きの老紳士ブランドィッシュ氏だけ――。

日本でも大ヒットした『死ぬまでにしたい10のこと』(03)で、一躍、脚光を浴びたイザベル・コイシェ監督。以後も、新たなジャンルに女性の感性を吹き込んで来た彼女が、次に選んだ題材は、保守的なイギリスの町に小



さな変革を起こそうとした女性のささやかな奮闘記。英国ブッカー賞受賞作家ペネロピ・フィッツジェラルドの原作小説を映画化した本作は 2018 年のスペイン・ゴヤ賞では見事、作品賞・監督賞・脚色賞と主要部門を受賞した。

普段着から主人公が心を込めて選んだ日常の小物や本、書店や海辺の町の風景、書店に嫌がらせを仕掛ける有力者の婦人のドレスやお屋敷ですら、どのシーンも美しく心癒されました。

閉鎖的な町で書店の経営に奮闘する主人公が年代を越えて、本を通して老紳士が交流を深めていく姿、お互いを思いやる関係性に胸が熱くなりました。良質な映画でした。

(菅夕子)

■題名／マイブックショップ(原題／La libreria)

■監督／イザベル・コイシェ

■キャスト／エミリー・モーティマー、ビル・ナイ、

パトリア・クラークソン

■2017年、スペイン、112分

## 前回例会の報告

6月4日の例会では、終身雇用を求めて公務員になった男がリストラの対象になってしまったことから巻き起こる騒動をいたイタリアのコメディドラマ『Viva! 公務員』を鑑賞しました。

イタリアで人気の喜劇俳優ケッコ・ザローネが公務員の職にしがみつこうとする主人公を演じ、退職に追い込まみたいリストラ担当者とのやりとりをコミカルでした。本会では珍しいイタリア喜劇映画でしたが、参加者には好評でした。

参加会員 110 人、明石シネマクラブからの参加者 6 人で合計 116 人の参加者でした。

## 明石シネマクラブ例会情報

■名称／『かぞくへ』(2016年、日本、117分)

■解説／家族を知らない男が、つかみかけた幸せを前に、親友と婚約者の間で揺れる\_\_。

『鬼平犯科帳』『必殺仕事人 2009』などの助監督を務めた神戸出身春本雄二郎監督の初の長編監督作品。

親友と婚約者の間で苦悩する 1 人の男を描き、2016 年・第 29 回東京国際映画祭の日本映画スプラッシュ部門に出品された人間ドラマ。家族の温かさを知らず養護



施設で育った旭は、同棲中の佳織と結婚を目前に控えていた。そんな中、旭は親友の洋人によかれと思って紹介した仕事で、洋人を詐欺の被害に遭わせてしまう。唯一無二の親友であり、養護施設で家族同然に育ってきた洋人と、認知症が進む祖母のために結婚式を急ぐ婚約者の佳織。かけがいのない大切な 2 人の間で悩み苦しむ旭は次第に追いつめられていき……。

■監督／春本雄二郎

■出演／松浦慎一郎、梅田誠弘 他

■日時／8月28日(水)

①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスピア明石 9 階子午線ホール

(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢)

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300 字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemacub@nifty.com

http://kagogawacinemacub.c.ooco.jp/

会員数 148 人(6月4日現在)